

## 11月 全校朝会

一昨日の合唱祭、素晴しかったです。音楽室から聞こえてくる歌声が日に日に上手になっている、とは思っていましたが、見事な合唱に仕上がっていました。3年生の合唱は、さすが両クラスとも素晴らしい仕上がりでした。指導者の先生にもたくさん褒めていただきました。

また、先日は、生徒会と専門委員会の引き継ぎがありました。部活動ではすでにリーダーとなっていた2年生ですが、生徒会、専門委員会も2年生に代替わりをし、本格的に学校のリーダーになりました。今後の活躍を期待しています。1年生は、宿泊体験がありました。成長した場面がたくさん見られたと引率した教頭先生から聞いています。二学期後半も頑張っていきましょう。

さて、今日は、本校の「いじめ0宣言」についてお話しします。それぞれの教室や昇降口などにも掲示してあります。この宣言は皆さんの先輩が、この学校からいじめをなくすために、生徒の手によって作成し、宣言したものです。生徒手帳をもっている人は、表紙をめくると、最初のページに「いじめ0宣言」が載っています。

この宣言は、しない、させない、見過ごさない、の3つの柱でできています。内容を読んでみますので、手帳を持っている人は目で追ってください。

「しない」私たちは、ふざけや軽い気持ちの意地悪が、相手に深い傷を負わせてしまうことや、犯罪となることを自覚し、絶対にいじめをしません。

「させない」私たちは、いじめの原因となる行為を止め、いじめができない環境をつくり保ちます。

「見過ごさない」私たちは、どんな時でもいち早く様子の変化に気づき、進んでその解決に努めます。

生徒手帳には、「平成8年1月17日の命の日の集会で採択」とあります。平成8年といえば、今から20年以上前のことです。20年以上にわたって生徒手帳の表紙に掲げてきたわけです。

この宣言がどのようにして作られたのか、知りたいと思っていましたが、先日、皆さんの授業の支援をして下さっている吉村先生から、教えていただくことができました。当時の3年生長谷山さんの作文が、全国中学生人権作文コンテストで埼玉県最優秀となり、新聞に載っていました。この記事を見せていただいたのです。この作文で、長谷山さんが述べていることを一部紹介します。

私たちが「いじめ」について取り組みを始める前に、「自分たちは今まで一度も人を傷つけた事はないと言えるのだろうか？」という話し合いをしました。全員があいまいな返答しかできませんでした。そんなつもりでなくても相手を傷つけてしまうことは確かにあります。(中略)誰でも「人を傷つけてしまったこと」はあると思います。そして、もう絶対しない、とは言い切れませ

ん。でも、だからこそ、思いやりをもって接し、注意し合うことが大切なのだと考えます。（引用はここまでです）

全校朝会で何度か紹介している言葉があります。

「己の欲せざるところ、人に施すことなかれ」自分が欲しくないものを人に与えてはいけない。自分がして欲しくないことを、人にしてはいけない、という意味です。このことをぜひ心がけて欲しい、ということは変わりません。ただ、長谷山さんが言うように「傷つけるつもりはなくても、相手を傷つけてしまうことがある」ということも、私たちは、覚えておく必要があります。

長谷山さんの作文の結びは、次のようになっています。

「いじめ0宣言」が、一人一人の心に刻まれ、いじめが永久になくなるまで、私たちは取り組みを続けていきたいと思えます。

20年以上にわたって大石南中が取り組み続けてきた「いじめ0宣言」をこれからもずっと大事にし、いじめを永久になくすことを目指して行きましよう。

おわりに、これから、いよいよ冬に向かっていきます。朝晩冷え込むようになります。新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザなどの感染症には十分注意して生活をしていきましょう。

校長 大澤 聡